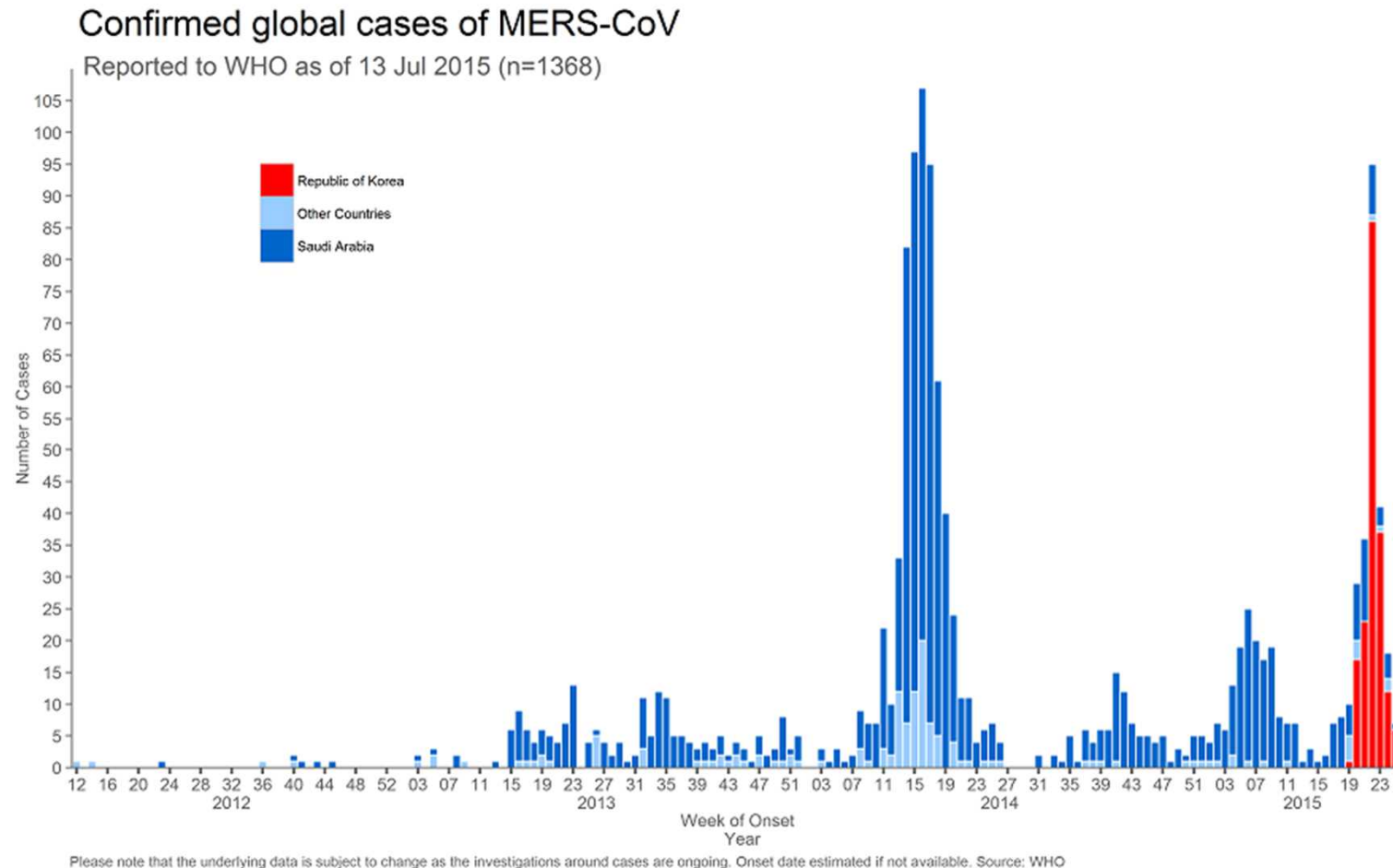


世界の状況

- 世界全体で、2012年9月以降確定患者のべ1368名、うち死者490名(2015年7月14日)
- 2015年は主にサウジアラビアと韓国で報告。
- WHOは今後も中東からの輸入症例が他国で報告されるだろうと予想している。



WHO 韓国、中国、サウジアラビア、その他の国における確定患者数

http://www.who.int/entity/csr/disease/coronavirus_infections/global-rok-ksa-other-countries-weekly-epicurve2015-07-13.png?ua=1

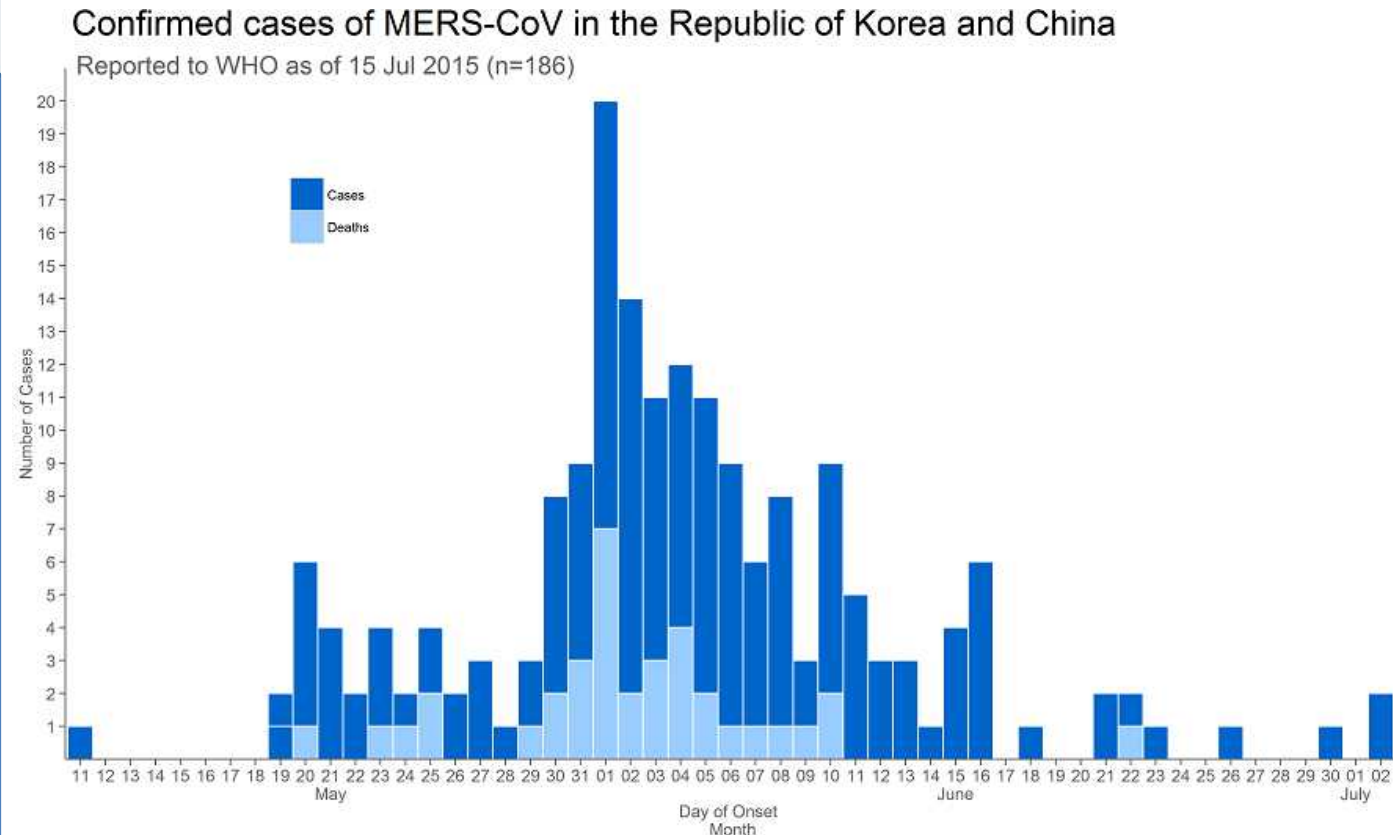
韓国における中東呼吸器症候群(MERS)の状況

韓国の状況

- 確定患者のべ186名、うち死者36名、退院者133名、隔離対象者延べ16,690名、現在隔離中258名（7月16日）
7月5日以降新たな感染者は出ておらず、流行曲線では終息の方向。

WHOと韓国政府による合同調査 (6月13日)

- 感染の現状: ヒト-ヒト感染しやすくなったり、市中で感染が広がっている証拠はない。今後、対策の効果が認められるまでに、数週間は要する。引き続き、動向を注視。
- 韓国で感染拡大した要因: MERSの診断が医者にとって不慣れであること、感染防止対策が不十分、「ドクターショッピング」や見舞いが多いといった特有の習慣。
- 感染拡大防止: 接触者の特定、隔離とモニタリング、感染防止対策の徹底、感染者と接触者の出国禁止



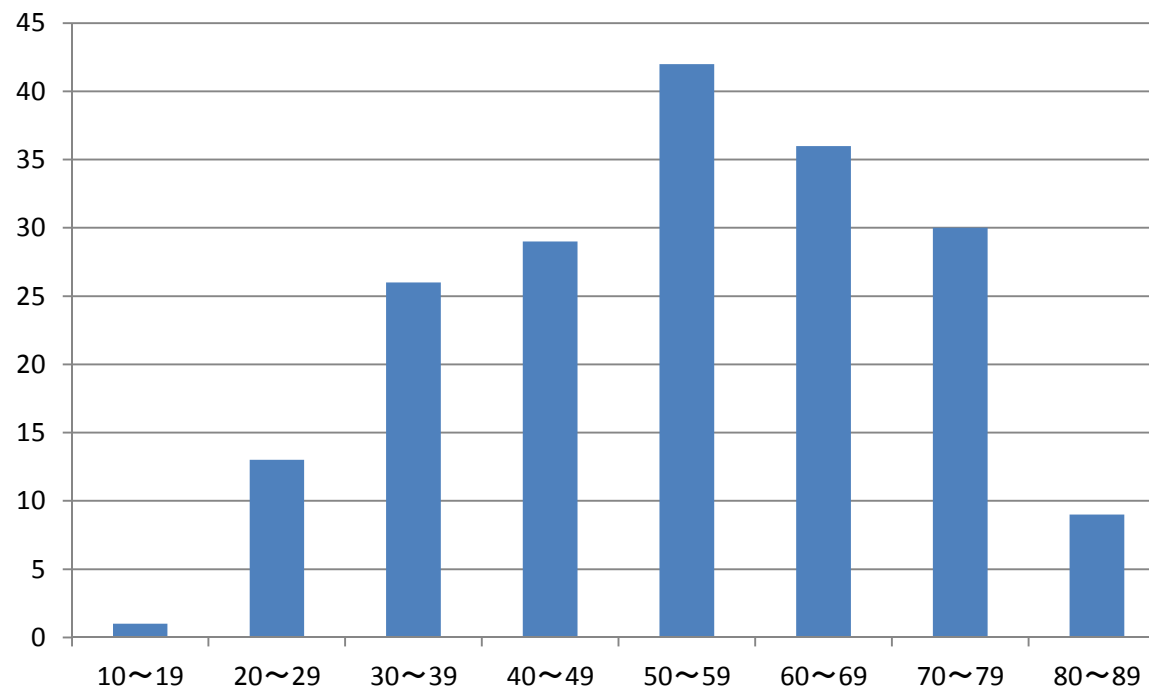
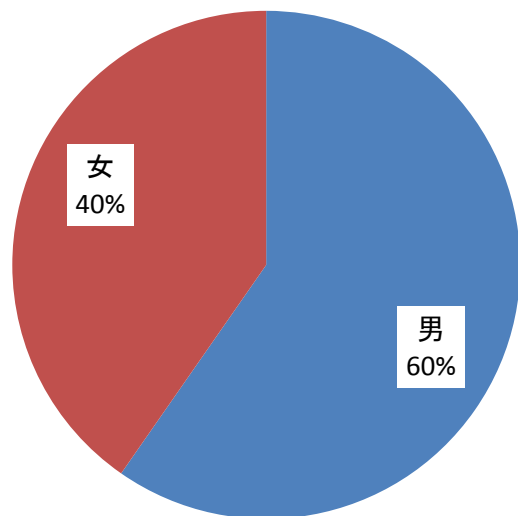
http://www.who.int/entity/csr/disease/coronavirus_infections/rok-daily-epicurve-cases-deaths2015-07-13.png?ua=1

国際保健規則MERS緊急委員会(6月16日)

→国際的な公衆の保健上の緊急事態には該当しないとの結論

韓国における中東呼吸器症候群(MERS)確定患者に関する現況(1)

確定患者(N=186)の基本特性 (7月13日時点)



確定患者の基本特性												
計	性別		年齢									
	男	女	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99
186	111	75	—	1	13	26	29	42	36	30	9	—
(%)	59.7%	40.3%	—	0.5%	7.0%	14.0%	15.6%	22.6%	19.4%	16.1%	4.8%	—

韓国における中東呼吸器症候群(MERS)確定患者に関する現況(2)

確定患者(N=186)のタイプ及び死亡者の年齢分布 (7月13日時点)

感染タイプ別確定患者の現況

計	患者	患者の家族 /保護者/ 訪問者	医療機関に関連する従事者								
				医師	看護師	放射線 技師	搬送要員	救急隊	看病人	警備/ 安全要員	電算業体
186	82	65	39	8	15	2	1	2	8	2	1
(%)	44.1%	34.9%	21.0%	4.3%	8.1%	1.1%	0.5%	1.1%	4.3%	1.1%	0.5%

死亡者(n=36)の現況

計	性別		年齢									
	男	女	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99
36	24	12	—	—	—	—	1	6	11	11	7	—
(%)	66.7%	33.3%	—	—	—	—	2.8%	16.7%	30.6%	30.6%	19.4%	—

※死亡者36名のうち、基礎疾患(癌、心臓・肺・腎疾患、糖尿病、免疫不全など)がある者や高齢者など、高危険群が33人(91.7%)になっている。

韓国における中東呼吸器症候群(MERS)確定患者に関する現況(3)

確定患者(N=58)の症状と治療

症状	(%)	治療	(%)
発熱	86.9	入院	54.0
咳	34.4	ICUで治療	16.6
痰	22.4	人工呼吸器	12.0
筋肉痛	22.4	薬物治療 *	
呼吸困難	18.9	インターフェロン	44.2
頭痛	13.9	リバビリン	48.0
下痢	10.3	ロピナビル	25.0
咽頭痛	6.8	* 上記の単剤又は併用	
悪阻	3.4		
意識低下	3.4		
喀血	1.7		
腹痛	1.7		
無症状	1.7		
その他 (めまい、発汗等)	6.8		

(韓国感染症学会報告)

確定患者(N=37、うち死亡6例)の疫学情報

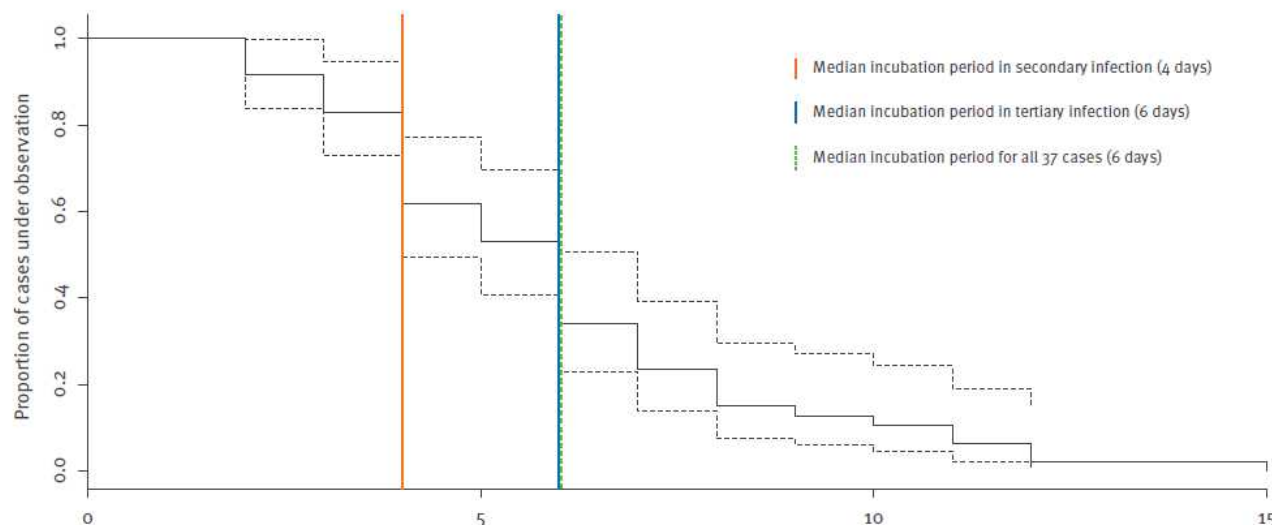
○ Index Case 1
例、
二次感染25例、
三次感染11例、
のまとめ

	平均	
平均年齢	51.7	才
発症から死亡までの期間	2~23	日

	平均	二次感染	三次感染
潜伏期間	6日	4日	6日
発症から確定までの期間	6.5日	9日	4日

FIGURE 2

Kaplan-Meier curve for days to suspected symptom onset after the last exposure to a laboratory-confirmed MERS case, Hospital B, Pyeongtaek, South Korea, May-June 2015 (n=37)



(Epidemiological investigation of MERS-CoV spread in a single hospital in South Korea, May to June 2015. EuroSurveill. 2015;20(25):pii=21169.)

中東呼吸器症候群(MERS)の輸入例の状況

タイ、フィリピンの輸入例

タイ:6月18日に初めて報告。75歳男性、オマーンからタイへの旅行者。ラクダ等との接触歴なし。オマーンを出発する前の6月10日に発症した。現在は回復し退院済み。2次感染は認められていない。(7月10日)

フィリピン:7月6日に報告。36歳男性、6月30日発症。すでに回復し、48時間おきの2回の検査でいずれも陰性を確認して退院済み。接触者追跡は継続中。(7月10日)

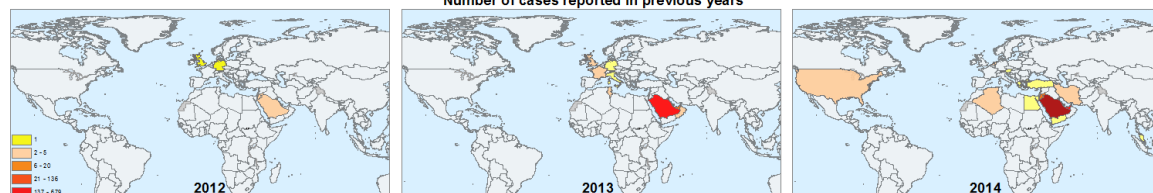
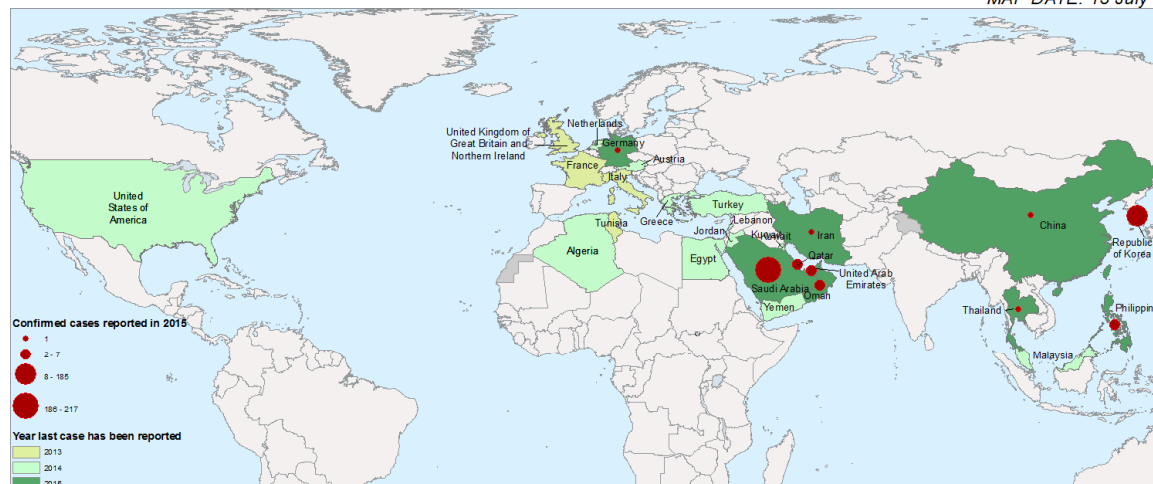
Table 1. Number of MERS-CoV cases by country and year (as of 7 July 2015)

	2012	2013	2014	2015	Total
Algeria	0	0	2	0	2
Austria	0	0	1	0	1
China	0	0	0	1	1
Egypt	0	0	1	0	1
France	0	2	0	0	2
Germany	1	1	0	1	3
Greece	0	0	1	0	1
Iran	0	0	5	1	6
Italy	0	1	0	0	1
Jordan	2	0	10	0	12
Kuwait	0	2	1	0	3
Lebanon	0	0	1	0	1
Malaysia	0	0	1	0	1
Netherlands	0	0	2	0	2
Oman	0	1	1	4	6
Philippines	0	0	0	2	2
Qatar	0	7	2	4	13
Republic of Korea	0	0	0	185	185
Saudi Arabia	5	136	679	217	1037
Thailand	0	0	0	1	1
Tunisia	0	3	0	0	3
Turkey	0	0	1	0	1
United Arab Emirates	0	12	57	7	76
United Kingdom	1	3	0	0	4
United States of America	0	0	2	0	2
Yemen	0	0	1	0	1
Total	9	168	768	423	1368

CONFIRMED CASES OF MIDDLE EAST RESPIRATORY SYNDROME - CORONAVIRUS 2012 - 2015



MAP DATE: 13 July 2015



Map Scale (A3): 1:73,252,234
1 cm = 733 km
Coordinate System: GCS WGS 1984
Datum: WGS 1984
Units: Degree

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

WHO Summary of Current Situation, Literature Update and Risk Assessment
http://www.who.int/csr/disease/coronavirus_infections/risk-assessment-7july2015/en/

中東呼吸器症候群(MERS)への対応状況

(1) 検疫対応

- 情報周知：機内アナウンス、ポスター、検疫官呼びかけ、リーフレット配布
- 発症者把握：サーモグラフィー体温測定
- 疑い例への対応
 - 接触歴あり、症状あり → 感染症指定医療機関に入院措置
 - 接触歴あり、症状なし → 14日間の健康監視

(2) 早期の診断・隔離、医療体制の確保

- 意識喚起とフローチャートの周知
 - 患者ないし医療機関 → 保健所への連絡 → 患者を感染症指定医療機関に搬送・隔離
- 医療提供体制の確保
 - 都道府県単位で医療確保（陰圧制御可能病室は全国310施設、約1,500病床）
- 横倉日本医師会長と塩崎厚生労働大臣との面会（6月22日）を踏まえ、連名で医療機関向けのMERS対応ポスターを作成し、留意事項とともに周知（厚生労働省HPにも掲載）

(3) 接触者把握と健康監視の徹底

- 接触状況に応じて、入院措置、外出自粛要請、健康観察を実施
 - 接触歴あり、症状あり → 感染症指定医療機関に入院措置
 - 濃厚接触、症状なし → 外出自粛要請と健康観察（14日間）
 - その他の接触者 → 健康観察（14日間）
※日本に入国した韓国における自宅隔離対象者についても、健康観察を実施。
- 接触者が特定できない場合（公共交通機関や繁華街等）
 - 接触機会を公表し、接触者に健康状況注意を呼びかけることを検討

韓国の中東呼吸器症候群(MERS)が終息した場合の対応について(案)

- 韓国では、7月5日から新たな患者の発生がない状況が続いているが、現在、韓国政府とWHOとで、終息宣言の基準に関し、以下の2案について議論中とのこと。終息宣言が出された場合の我が国の対応についてご意見をいただきたい。

(案1) MERS感染者の発生が中断した日を基準日として、4週間(潜伏期間の2倍)が過ぎた後に終息宣言

(案2) 最後のMERS感染者が完治した日を基準日として、4週間(潜伏期間の2倍)が過ぎた後に終息宣言

中東呼吸器症候群(MERS)疑い患者が発生した場合の自治体向け暫定的対応フロー【当面】(抜粋)

※ MERS疑似症患者の定義:

1

平成27年6月10日現在

以下のア、イ又はウに該当し、かつ、他の感染症又は病因によることが明らかでない患者

ア 38℃以上の発熱及び咳を伴う急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺炎、ARDSなどの実質性肺病変が疑われる者であって、発症前14日以内に対象地域(※)に渡航又は居住していたもの

イ 発熱を伴う急性呼吸器症状(軽症の場合を含む。)を呈する者であって、発症前14日以内に対象地域(※)において、医療機関を受診若しくは訪問したもの、MERSであることが確定した者との接触歴があるもの又はヒトコブラクダとの濃厚接触歴があるもの

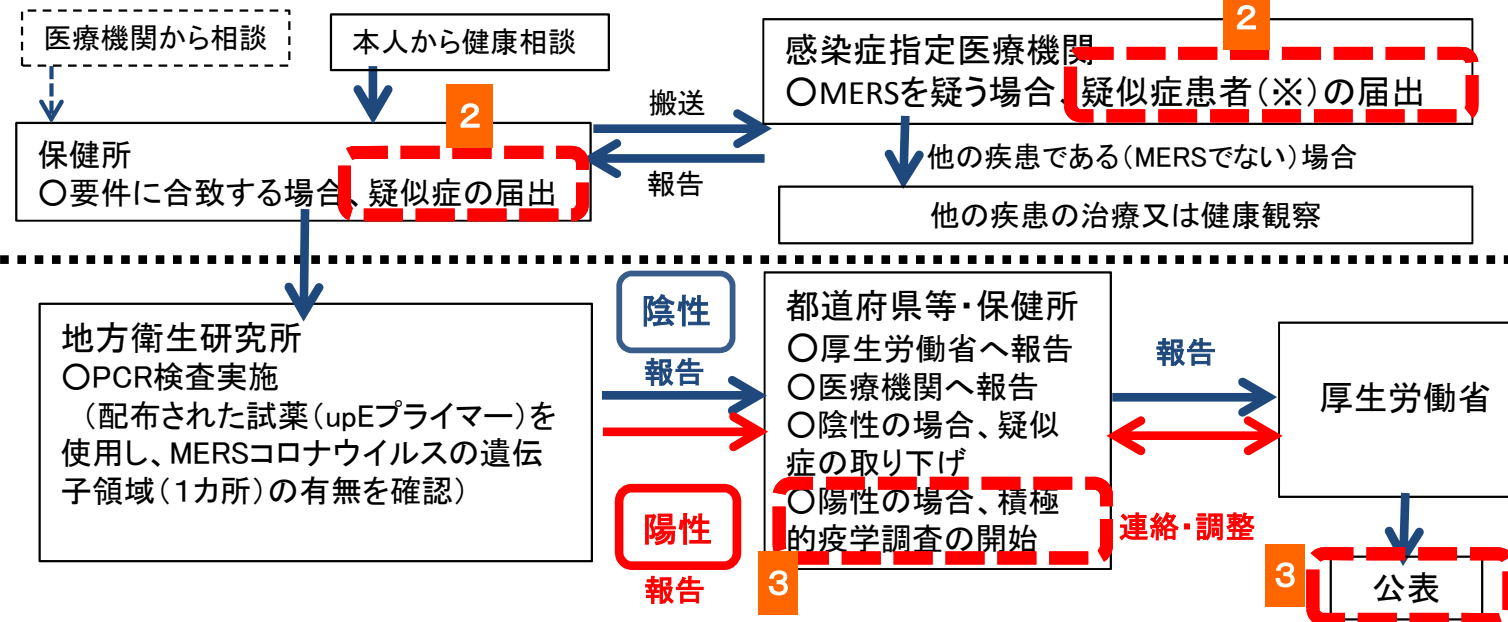
【※ 対象地域: アラビア半島又はその周辺諸国】

ウ 発熱又は急性呼吸器症状(軽症の場合を含む。)を呈する者であって、発症前14日以内に、対象地域か否かを問わず、MERSが疑われる患者を診察、看護若しくは介護していたもの、MERSが疑われる患者と同居(当該患者が入院する病室又は病棟に滞在した場合を含む。)していたもの又はMERSが疑われる患者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れたもの

韓国のMERS発生を受けた国内対応の変更点

1. 疑似症の定義
情報提供を求める患者の要件を、疑似症の定義とした。

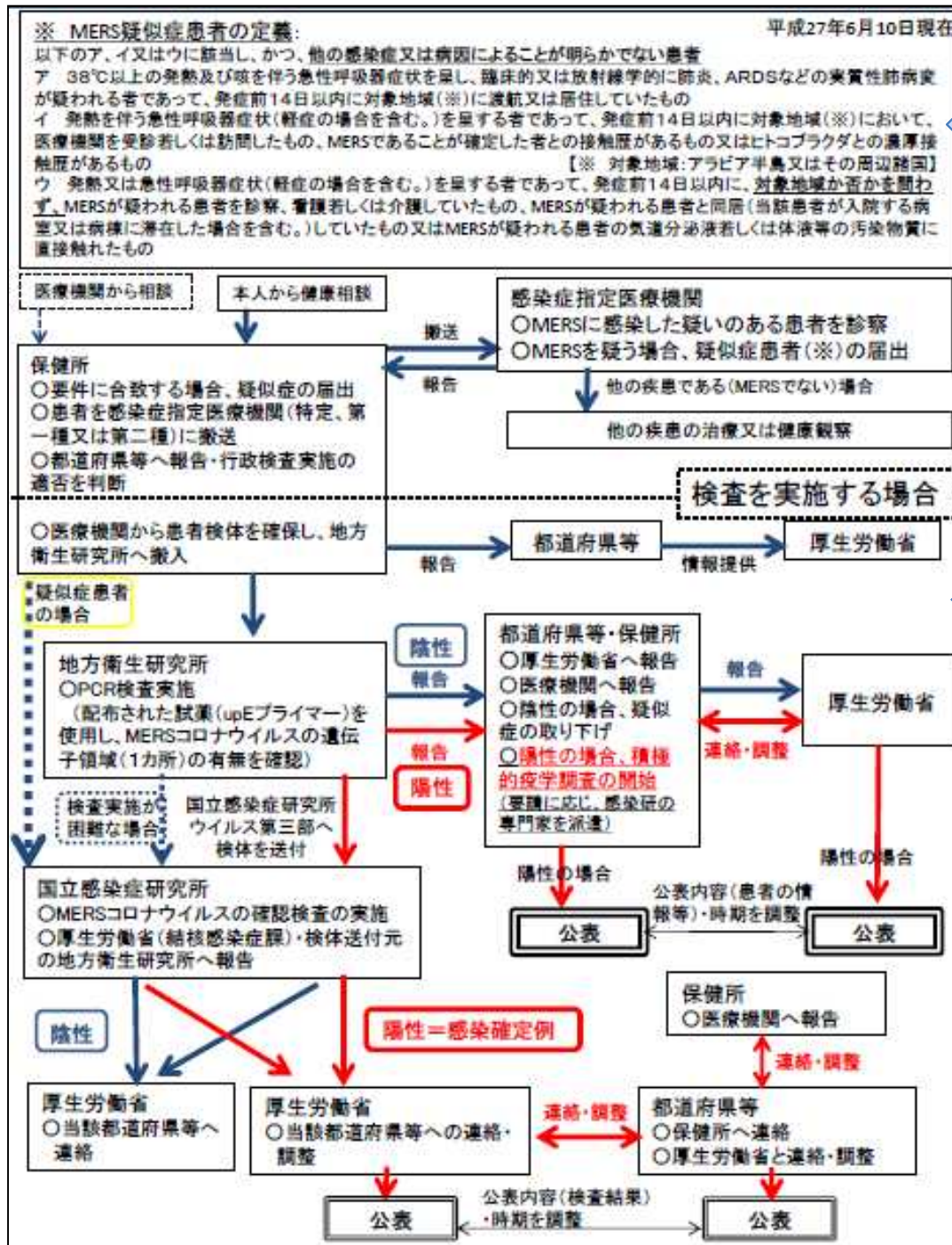
2. 疑似症届出のタイミング
地衛研の結果を待たず、疑似症届出を提出(直ちに、入院措置が可能)



3. 公表のタイミング
感染研ではなく、地衛研で陽性だった時点で公表する。(直ちに積極的疫学調査を開始)

中東呼吸器症候群(MERS)の国内対応フロー(参考)

韓国のMERS発生を受けた暫定的な対応フロー(現在)



韓国のMERS発生前の対応フロー(従前)

患者の要件は基本的に現在と同じ。
 (韓国は要件ウに該当し、6月10日に内容がより明確になるよう文言を追加した。)

